

安全確認巡視について

小林 明浩*¹

*¹ 東京大学理学部技術部

1. 概要

平成 16 年の国立大学の法人化以降、東京大学理学系研究科では、労働安全衛生法に基づき、産業医による作業巡視（産業医巡視）を毎月 1 回（主に第 1 木曜日の午前中）実施しているが、本郷キャンパス以外の施設を含む理学系研究科の全ての箇所を 1 年かけて巡視を行うため、時間的な制約から各部屋の巡視所要時間はごくわずかとなり、安全管理上十分な実態の把握には至っていないのが現状である。

そこで、このままでは事故や災害を未然に防ぐことが困難になる恐れがあることから、理学系研究科の方針として安全管理を強化することが挙げられ、その一環として、2009 年 6 月より、産業医巡視とは別に理学系研究科独自の「安全確認巡視」を行っている。現在は週 1～2 回のペースで巡視を行っており、対象は本郷キャンパス内の各部屋で、実験室や大学院生室、事務室だけではなく、産業医巡視では通常は巡視を行わない教員室も対象に含まれている。巡視者は環境安全管理室のメンバー 3～6 名（うち技術職員は 2～4 名）で、専攻によってはこれに加えて専攻内の安全管理担当者が同行することもある。

2. 巡視の流れ

まずは日程調整から始まる。2～3 ヶ月先までの巡視者の予定を確認し、巡視を行う日を決定する。巡視は午前、もしくは午後の半日の予定で行われ、巡視日の決定の際には、午前と午後のどちらの日程で巡視を行うかも合わせて決定される。巡視日が決まると次は各専攻・施設への割り振りを行い、専攻内でどの部屋を巡回するかを決定する。1 回の巡視で対象となる箇所（部屋）は 5～15 程度で、巡視事項が多くなる傾向にある実験室の有無やその数、および対象箇所の関係者の都合などによりその日の対象箇所の数は変動する。

巡視当日は原則として午前の場合は 9 時 30 分、午後の場合は 13 時 30 分から開始となり、まず環境安全管理室に集合し、事前の打ち合わせを行ってから巡視対象箇所へ向かう。ただし、環境安全管理室から遠い場所にある専攻・施設を巡視する際には、対象専攻・施設の同行者に配慮し、現地にて集合、事前打ち合わせを行うこともある。

事前打ち合わせが終わると各部屋への巡視が始まる。巡視は原則として各部屋の関係者の立会いの下に行われ、電気配線や棚等の耐震状況、薬品の管理や整理整頓に関することなどの労働安全衛生全般について、問題点や良い点などを指摘していくとともに、必要があればデジタルカメラにて指摘された点を撮影するほか、各部屋の関係者からの疑問があればそれに答えることも行っている。

各部屋の巡視が終わると、環境安全管理室に戻りその日のまとめを行うが、事前打ち合わせと同様、環境安全管理室から遠い場所の場合には現地にてまとめを行うこともある。指摘事項は、複数名で取ったメモを元に内容の確認を行い、巡視結果報告書を作成する。報告書はまず原案が作成され、巡視者間で内容を精査、加筆修正後、環境安全管理室室長の承認を得て正式版となる。正式版は産業医巡視と同様、巡視対象箇所の部屋責任者に送付され、指摘事項に対する対応策を記入し、環境安全管理室へ返送してもらうようにしている。

3. 主な指摘事項

安全確認巡視での指摘事項は箇所によってまちまちであるが、教員室や学生居室、事務室などのいわゆる非実験室では、電気配線に関する指摘と整理整頓や清掃に関する指摘（整理整頓や清掃が不十分）が比較的多い。電気配線に関する、消費電力の大きな電気機器（ポットや電子レンジ、コーヒーメーカー）が 1 つのテーブルタップに複数接続されているケー

スである。

また、非実験室において、電気配線に関する指摘と並んで比較的多いのが、整理整頓や清掃に関する指摘（整理整頓や清掃が不十分）である。特に多数の人が共通で使用している部屋（学生控室など）はこのような指摘が比較的多く、部屋の管理が不十分であるように見受けられる。

実験室における指摘事項は、保護具の着用や薬品（毒物・劇物）の管理に関するものが多い。特に、毒物・劇物を他の薬品と同じ棚に保管しているケースや、毒物・劇物の入っている棚に表示が無いケース、施錠管理がされていないケースが多く見られる。また、非実験室と同様に電気配線や整理整頓、清掃に関する指摘も比較的多く見られ、特に共通で使用している実験室（学生実験室など）では部屋全体の管理に関する指摘も見られる。

4. 今後の計画

今後も産業医巡視を補完する巡視として、引き続き未実施の箇所や前回の巡視後に部屋の用途変更があった箇所の巡視を行っていくとともに、既に巡視が完了している箇所については、産業医巡視や過去の安全確認巡視で指摘された事項への対応状況の確認を主題とした「フォローアップ巡視」を行うことを検討中である。